



春に向けて ～人生の節目を大切に～

立春を迎え、厳しい寒さが続くなか、少しずつ日差しにも力強さが感じられるようになりました。

春といえば、旅立ちの季節でもあります。3年生は、慣れ親しんだ戸隠分校からの卒業を迎えます。また、1、2年生は、進級という節目を迎えます。卒業や進級といった人生の節目は、大切にすることで、その時々にしかな得られない貴重な経験が得られます。

東レ研究所特別顧問の佐々木恒夫さんは、人間の成長にとって「それでもなお」という言葉が人を磨き上げてくれる、と述べています。佐々木さんは、『それでもなお、人を愛しなさい 人生の意味を見つけるための逆説の10か条』（ケント・M・キース著、早川書房）という本を読んで、この言葉に出会いました。佐々木さんは、仕事や私生活で、様々な災難や理不尽な思いに見舞われたなかでも、この言葉を胸に刻み、「負」の感情を克服しようと努力をし、ガンジーやマザー・テレサのような人物を目標として自分を磨き続けました。

以下に紹介します。

1. 人は不合理で、わからず屋で、わがままな存在だ。それでもなお、人を愛しなさい。
2. 何か良いことをすれば、隠された利己的な動機があるはずだと人に責められるだろう。
それでもなお、良いことをしなさい。
3. 成功すれば、嘘の友達と本物の敵を得ることになる。それでもなお、成功しなさい。
4. 今日の善行は明日になれば忘れられてしまうだろう。それでもなお、良いことをしなさい。
5. 正直で素直なあり方はあなたを無防備にするだろう。それでもなお、正直で素直なあなたでいなさい。
6. 最大の考えを持った、もっとも大きな男女は、最小の心を持った、もっとも小さな男女によって打ち落とされるかもしれない。それでもなお、大きな考えを持ちなさい。
7. 人は弱者をひいきにはするが、勝者の後にしかついていけない。それでもなお、弱者のために戦いなさい。
8. 何年もかけて築いたものが一夜にして崩れ去るかもしれない。それでもなお、築き上げなさい。
9. 人が本当に助けを必要としていても、実際に助けの手を差し伸べると攻撃されるかもしれない。
それでもなお、人を助けなさい。
10. 世界のために最善を尽くしても、その見返りにひどい仕打ちをうけるかもしれない。
それでもなお、世界のために最善を尽くしなさい。

日常生活や現実の社会においては、私たちは思いもよらぬ災難や理不尽な思い見舞われることが多くあります。そのようななかでも、私たちの成長にとっては、「それでもなお」と最善を尽くしていくことが欠かせないと言うのです。これこそが、「自分を磨く」ための言葉だと言えます。

卒業や進級を目前に控えているこの時期に、もう一度、取り組むべき課題を見つめ、挑戦してみてください。また、卒業後や進級後においても、この言葉を胸に留め、自分らしく歩みを進めてください。



総合的な探究の時間

後期の総合的な探究の時間も、残り少なくなってきました。戸隠分校は金曜日の5・6時限を使って、戸隠地域と連携した体験的な学びを行っています。戸隠地域の多くの講師の方々にご指導いただきながら、生徒たちは幅広い経験を通して、豊かな感性を磨き、戸隠の特徴や魅力について学んできました。

《後期の講座と内容》

1. 文化探究

内容：楽器演奏を通じて音楽の知識・技能を身に付け、戸隠の風土に合う自己表現を探究。

現在はギター演奏を習得しています。短期間で、見事に成長しました。3年生を送る会で演奏を披露するために、楽しみながらも集中して取り組んでいます。



2. 色々伝統

内容：伝統芸能の実習（そば打ち、茶道、百人一首など）

現在は茶道を習得しています。細かな手順や作法、心づかいを身に付け、日常生活では味わえない、茶道の奥深さが体得できます。戸隠の美しい冬景色の中で、生徒たちは凛とした心持で取り組んでいました。



3. 戸隠色々スポーツ

内容：障がい者スポーツやウィンタースポーツの体験、伝統的な戸隠流忍術の体験

前半は、戸隠流忍術について学びました。講師の方をお招きして、戸隠流忍術の歴史と、基本的な所作について学びました。後半は戸隠スキー場においてスキーの実習です。これだけ近いところに大規模なスキー場がある高校は、長野県内でも数えるほどです。



年金セミナー

年金セミナーが講師をお招きして開催されました。社会に出てから必ず必要とされる年金について、理解を深める良い機会となりました。生徒からは、「年金＝老後のための印象がありましたが、セミナーを聞いて年金には色々な役割がある事を学ぶことができました。」といった感想が寄せられました。



《3月の予定》

- ・ 3月 1日（月）卒業生を送る会
- ・ 3月 3日（水）卒業式
- ・ 3月22日（月）終業式